

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第2区分
 【発行日】平成21年12月3日(2009.12.3)

【公開番号】特開2006-17956(P2006-17956A)
 【公開日】平成18年1月19日(2006.1.19)
 【年通号数】公開・登録公報2006-003
 【出願番号】特願2004-194890(P2004-194890)
 【国際特許分類】

G 0 3 G 15/20 (2006.01)

H 0 2 M 5/257 (2006.01)

G 0 3 G 21/20 (2006.01)

【F I】

G 0 3 G 15/20 1 0 1

H 0 2 M 5/257 Z

G 0 3 G 21/00 5 3 4

【手続補正書】

【提出日】平成21年10月21日(2009.10.21)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

交流電源からの交流電圧の供給をON及びOFFするスイッチング手段と、
 前記交流電圧を制御対象に供給することによって前記制御対象を制御し、前記制御対象による制御結果を検出する検出手段と、

前記制御対象に供給される交流電圧のゼロクロスを検出するゼロクロス検出手段と、

前記制御対象を制御するための目標値と前記検出手段によって得られた前記制御結果との差に基づいて、前記制御対象に対して供給する前記交流電圧の前記ゼロクロスからのON時間を決定し、前記決定したON時間に対応するタイミングで前記スイッチング手段をONするように制御する制御手段とを具え、

前記制御手段は、前記交流電源から供給される前記交流電圧の1波毎に前記決定したON時間に対応して、前記スイッチング手段のONタイミングを前記交流電圧の周期毎にプラスの方向とマイナスの方向に循環的に、且つ、異なるONタイミングに設定することを特徴とする電力制御装置。

【請求項2】

前記制御手段は、前記スイッチング手段のONタイミングを前記交流電圧に応じて決定することを特徴とする請求項1に記載の電力制御装置。

【請求項3】

前記制御対象は、画像形成装置に使用される定着器のヒータであって、

前記制御手段は、前記ヒータの温度を検出して、前記ヒータの目標温度と検出した温度との差に基づいて、前記ON時間を決定することを特徴とする請求項1または2に記載の電力制御装置。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

上記課題を解決するために、本発明は、交流電源からの交流電圧の供給をON及びOFFするスイッチング手段と、前記交流電圧を制御対象に供給することによって前記制御対象を制御し、前記制御対象による制御結果を検出する検出手段と、前記制御対象に供給される交流電圧のゼロクロスを検出するゼロクロス検出手段と、前記制御対象を制御するための目標値と前記検出手段によって得られた前記制御結果との差に基づいて、前記制御対象に対して供給する前記交流電圧の前記ゼロクロスからのON時間を決定し、前記決定したON時間に対応するONタイミングで前記スイッチング手段をONするように制御する制御手段とを具え、前記制御手段は、前記交流電源から供給される前記交流電圧の1波毎に前記決定したON時間に対応して、前記スイッチング手段のONタイミングを前記交流電圧の周期毎にプラスの方向とマイナスの方向に循環的に、且つ、異なるONタイミングに設定することを特徴とする。